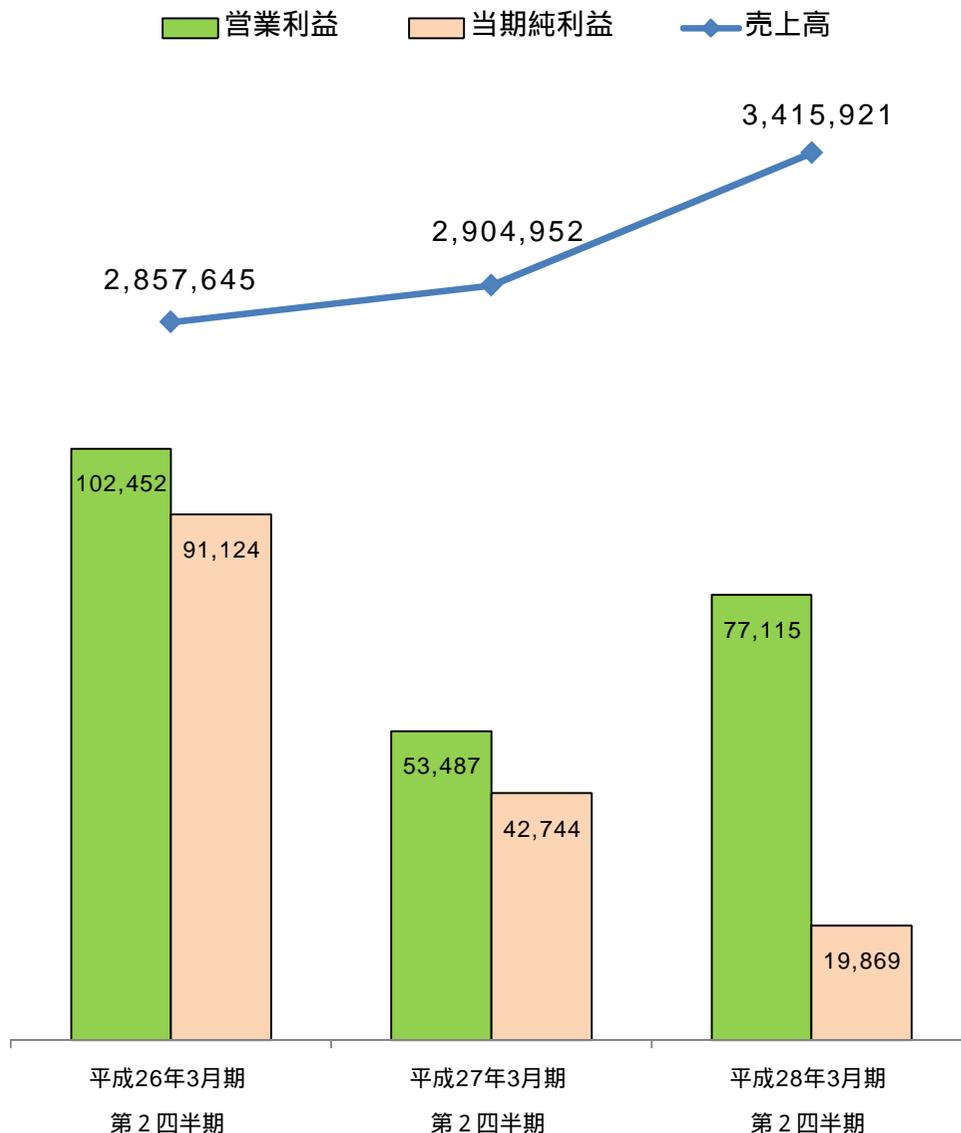


- 1 . 平成28年 3 月期第 2 四半期連結決算概要
- 2 . 平成28年 3 月期 業績予想
- 3 . 下半期の取り組み
- 4 . 参考資料

1 . 平成28年3月期第2四半期連結決算概要

- ・ 計画を上回る増収・増益を達成。
- ・ 連結売上高は業務用製品、別添用製品が牽引。
〔 売上高：前期比17.6%増 当初予算比7.0%増 〕
- ・ 売上原価率、販管費率は前期とほぼ同水準に抑える事に成功。経常利益以下は為替の影響（前期為替差益61百万円計上）により減益。
〔 営業利益は、前期比44.2%増の77百万円
経常利益は、前期比31.2%減の75百万円
四半期純利益は、前期比53.5%減の19百万円 〕

提案型営業の強化により、計画を上回る増収・増益を達成



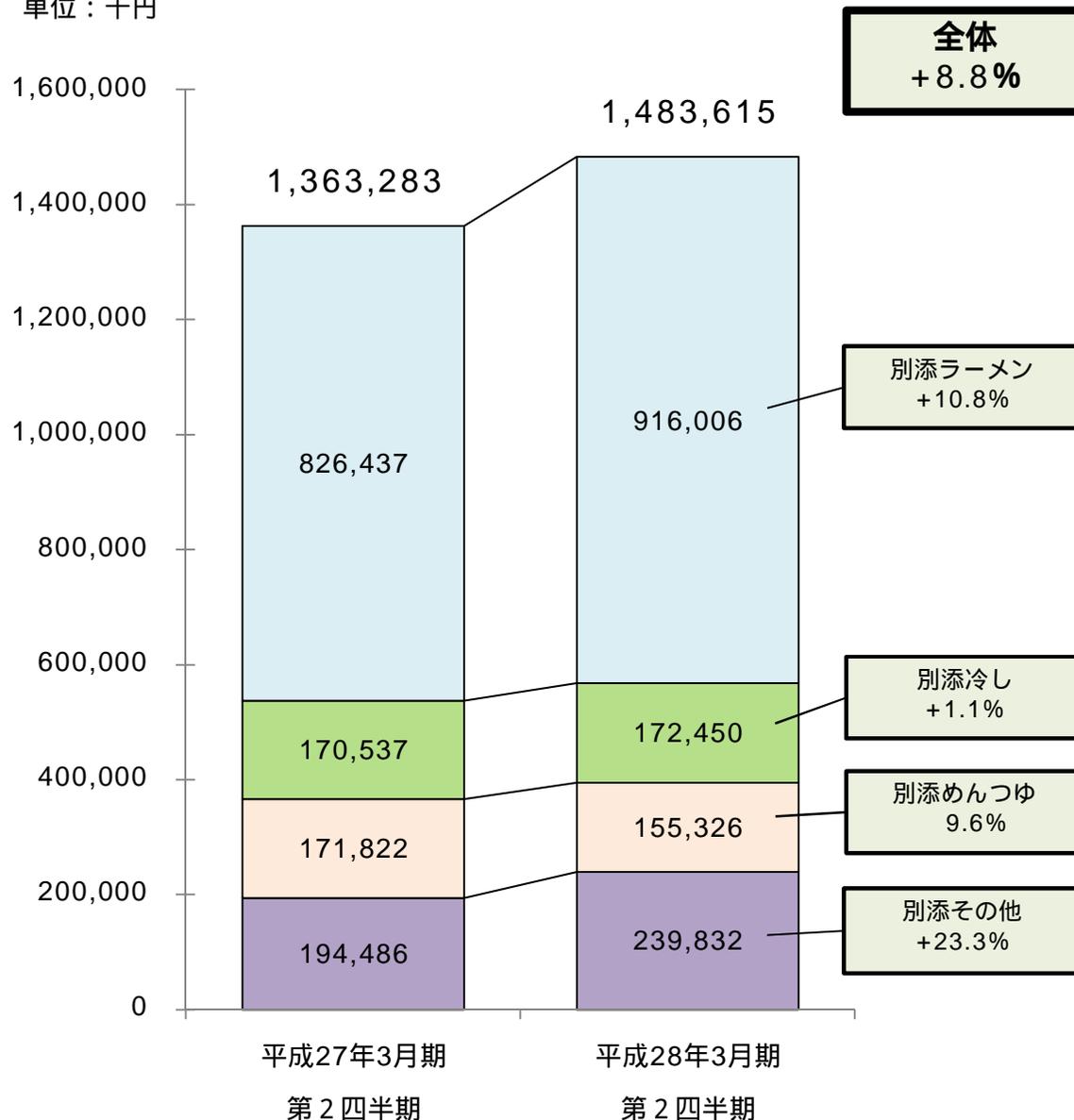
単位：千円	平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期	対前年増減額 / 率	
別添用	1,363,283	1,483,615	120,332	8.8%
業務用	1,259,847	1,609,037	349,190	27.7%
天然エキス	133,246	112,637	20,608	15.5%
商品等	148,575	210,631	62,055	41.8%
売上高	2,904,952	3,415,921	510,969	17.6%

売上原価	2,191,520	2,569,524	378,003	17.2%
販売費及び 一般管理費	659,944	769,282	109,337	16.6%
営業利益	53,487	77,115	23,628	44.2%

営業外収益	69,481	15,160	54,320	78.2%
営業外費用	12,604	16,358	3,754	29.8%
経常利益	110,364	75,917	34,446	31.2%

特別利益				
特別損失	0	1,623	1,623	
法人税等	67,619	54,425	13,194	19.5%
四半期純利益	42,744	19,869	22,875	53.5%

単位：千円



別添ラーメン

- ・中食向け冷麺スープや大手外食チェーン向けラーメンスープが好調に推移。前年同期実績を上回った。

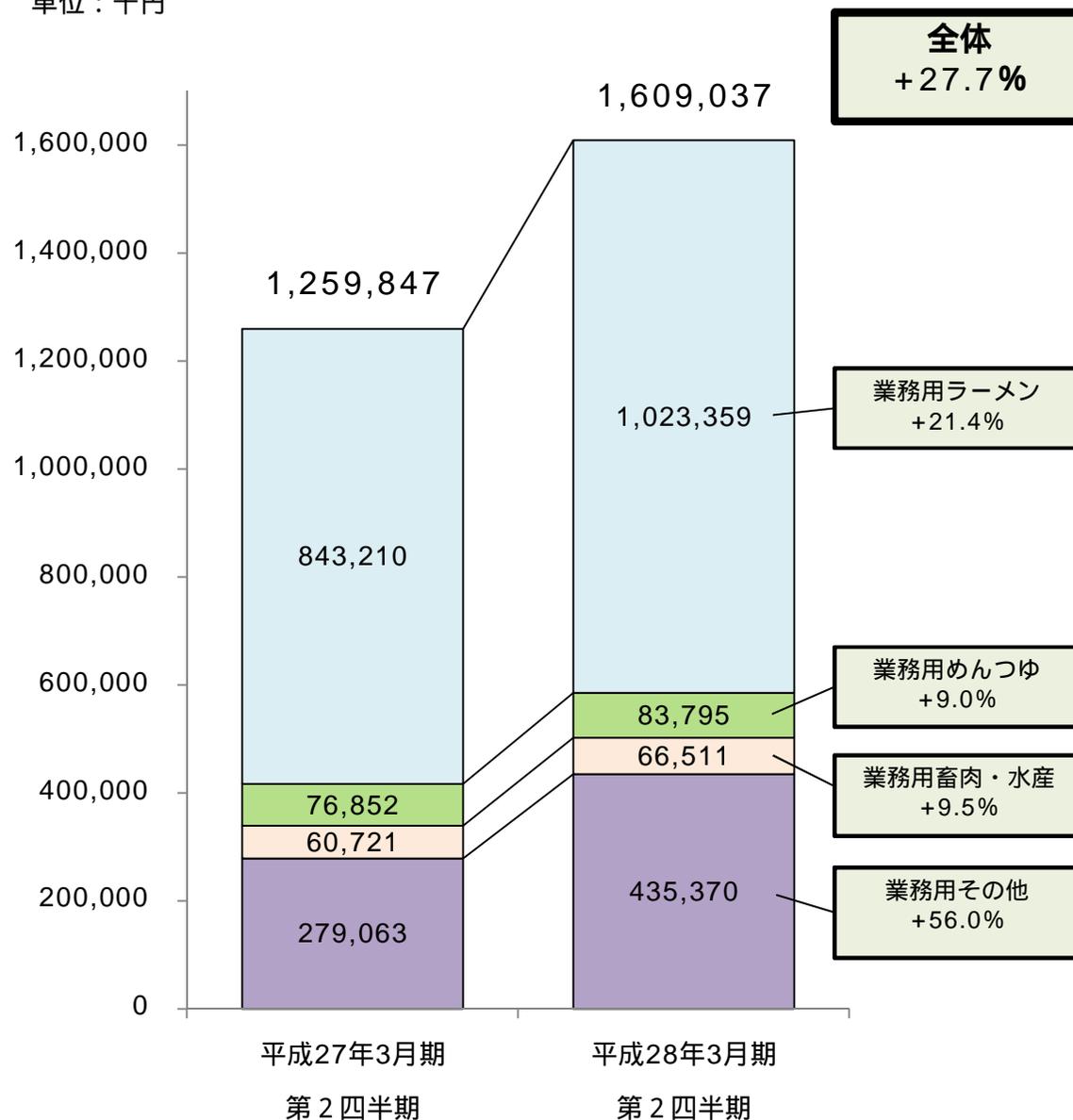
別添冷し

- ・定番品の中食向け冷し中華のスープが好調に推移。前年同期実績を上回った。

別添めんつゆ

- ・大手コンビニチェーン向け冷しうどん、蕎麦つゆの売上が前年に比べ伸び悩み、前年同期実績を下回った。

単位：千円



業務用ラーメン

- ・大手コンビニチェーン、大手ラーメンチェーン、大手外食チェーン向けの味・醤油系ラーメンスープが好調に推移。顕著に伸長し、売上増を牽引。

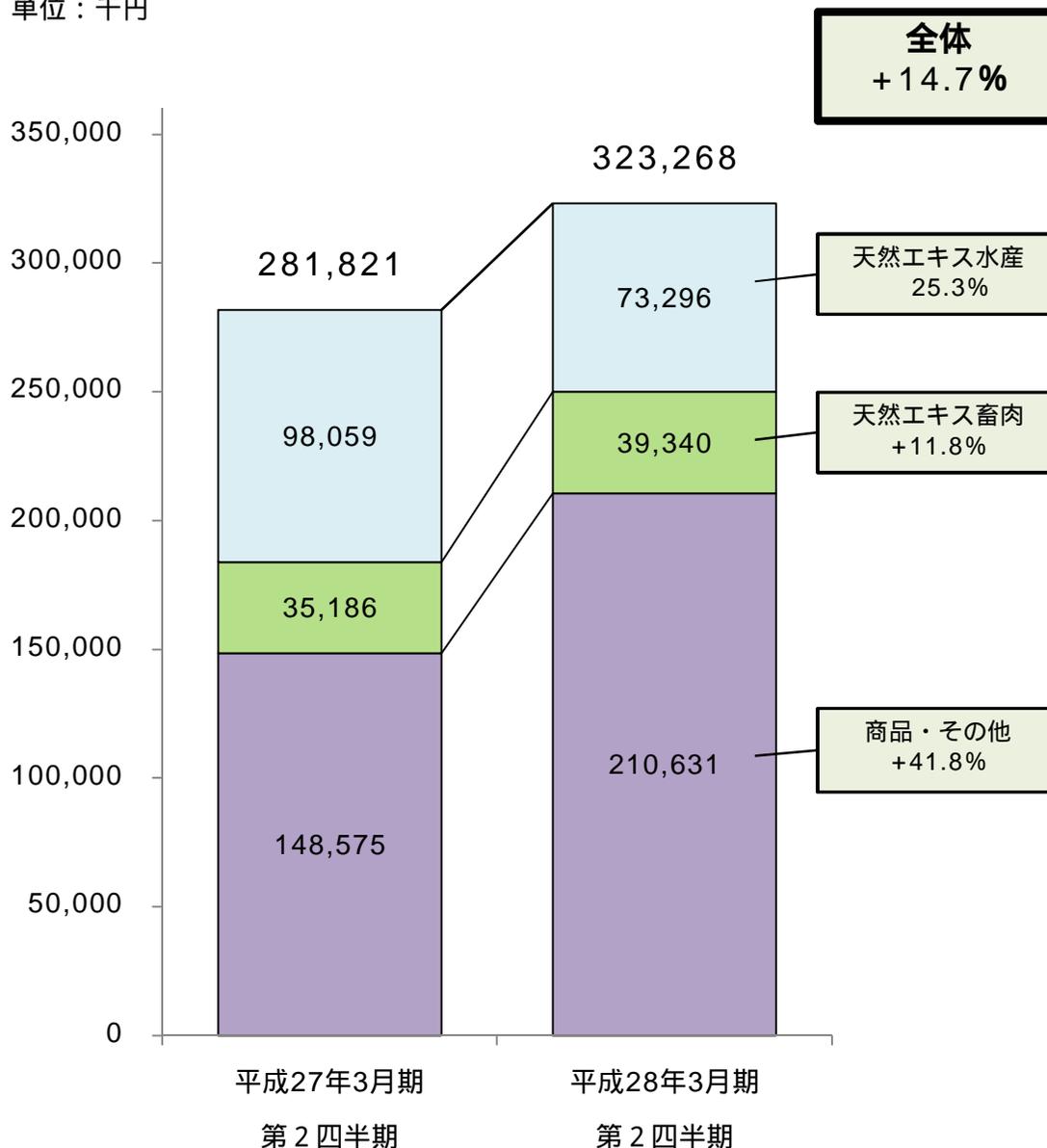
業務用めんつゆ

- ・大手外食チェーン向けうどんつゆ、冷汁が好調に推移。前年同期実績を上回った。

業務用畜肉・水産

- ・大手外食チェーン、大手居酒屋チェーン向け焼肉のタレ・焼き鳥のタレが好調に推移。前年同期実績を上回った。

単位：千円



天然エキス水産

- ・ホタテエキスの売上が減少。
理由として、昨冬の爆弾低気圧による大しけで、オホーツク海のホタテ漁に深刻な被害が出たことからホタテエキスの製造量に大きな影響を与えた。

天然エキス畜肉

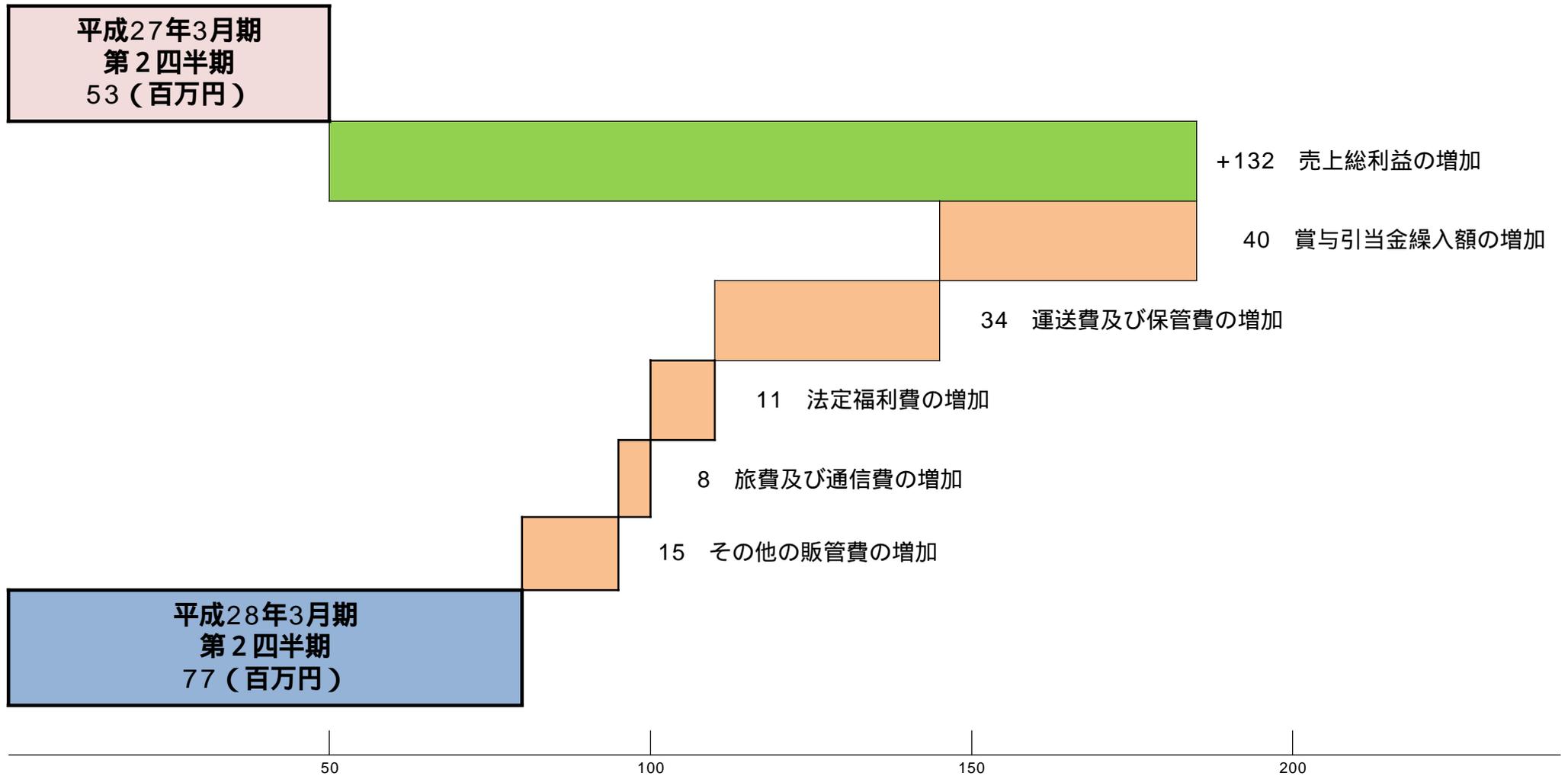
- ・ポーク系・鳥系ガラスープの売上が好調に推移。
前年同期実績を上回った。

商品・その他

- ・畜肉系商品、ガラスープ商品の売上が好調に推移。
前年同期実績を上回った。

増益要因
 減益要因

(百万円)



2 . 平成28年3月期 業績予想

- 平成28年3月期予想を当初計画から上方修正。
- 連結売上高は、前期比439百万円の増収を見込む。
- 原材料の高騰による影響から一部の原材料ではさらに値上げの実施が懸念される。
- 米国子会社では、工場稼働に伴い人件費、減価償却費が増加。国内利益に対する法人税等の負担もあり連結純利益は減益となる見込み。

平成28年3月期予想を当初計画から上方修正

単位：千円	平成27年3月期 (実績)	平成28年3月期 (予想)	対前年増減額 / 率	
売上高	6,060,482	6,500,000	439,517	7.3%
売上原価	4,567,937	4,914,000	346,062	7.6%
売上総利益	1,492,544	1,586,000	93,455	6.3%

販売費及び 一般管理費	1,346,525	1,449,000	102,474	7.6%
営業利益	146,019	137,000	9,019	6.2%

営業外収益	193,186	30,000	163,186	84.5%
営業外費用	27,170	39,000	11,829	43.5%
経常利益	312,034	128,000	184,034	59.0%

特別利益				
特別損失	24	3,000	2,975	
法人税等	187,546	120,000	67,546	36.0%
当期純利益	124,464	5,000	119,464	96.0

下半期の取り組み

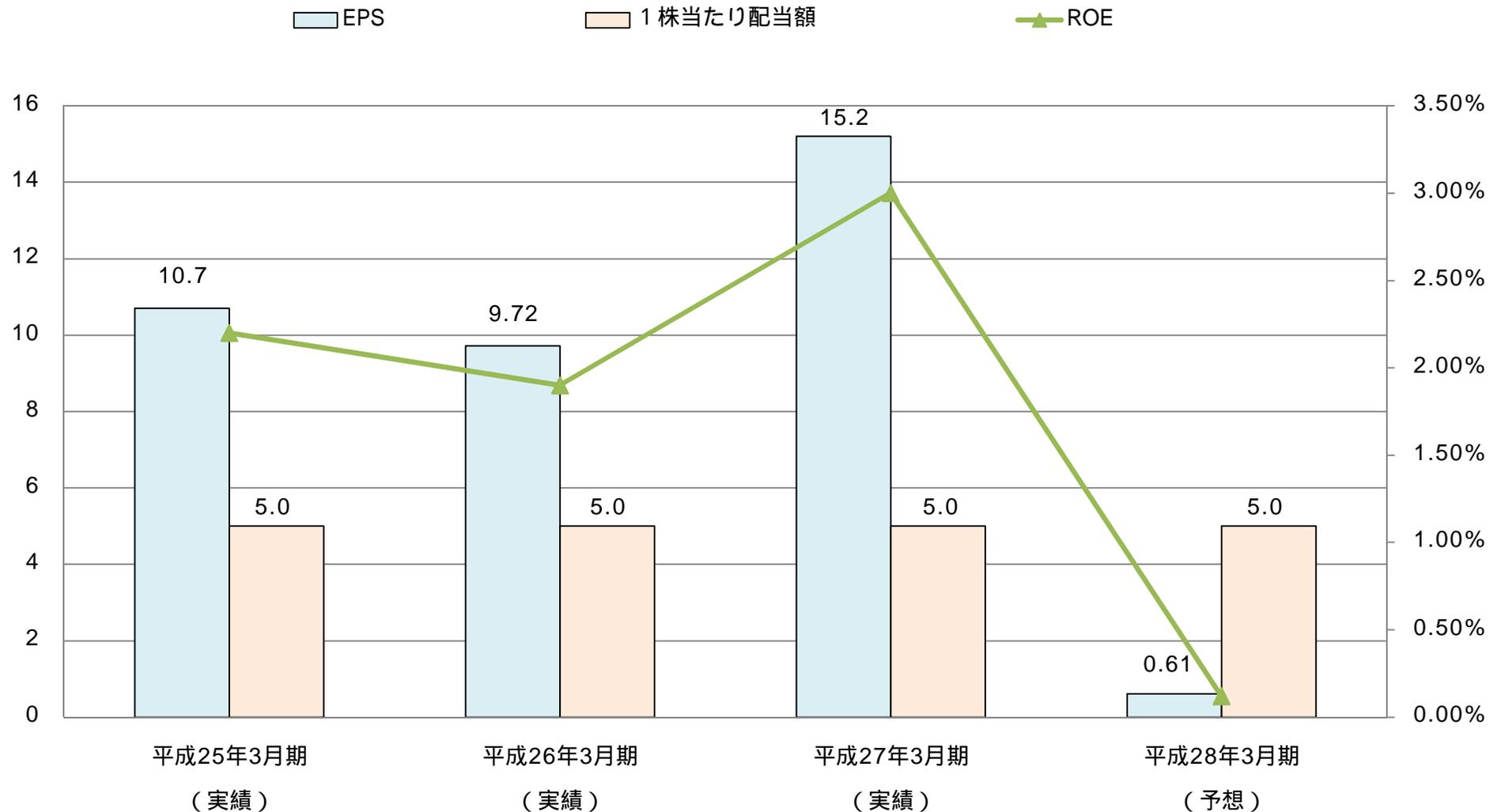
国内事業

- ・ 外食・中食向け業務用調味料市場の開拓・拡販。
- ・ 試食提案会・展示会へ積極的に参加し、提案型営業の強化。
- ・ 生産性向上、コスト低減。

米国子会社

- ・ 現地生産・販売活動の確立。
- ・ 商品サンプルを多数作成し、見込みユーザーに提供、提案営業の強化。

成長のために事業投資を積極的に行いつつ、安定的な配当を継続



3 . 下半期の取り組み

試食提案会、展示会へ積極的に参加



ラーメン産業展

- 日本最大のラーメン産業展である「外食ビジネスウィーク2015in東京ビッグサイト」に参加。
- 無料招待券を配り、集客・提案営業を行う。
- 新商品「黒味噌だれ」「はまぐり出汁スープ」「鯛だし塩スープ」を紹介。3日間でトータル9000食を提供。
- 大阪開催「関西外食ビジネスウィーク2016」、東京開催「外食ビジネスウィーク2016」に出展予定。

試食提案会

- 試食会では話題性や季節感を考慮し当社のイチオシ製品をはじめ、新製品やトレンド感のある製品を紹介。
- 情報交換の場としても気軽に参加できるディスカッション形式。

工場が竣工。生産プロセスの確立・顧客獲得が早急な課題



カリフォルニアを中心に 北米圏の海外進出をサポート

北米圏は、現在約14箇所とセールスルートを拡大中です。



FDA基準に沿った設備で、米国農務省(USDA)の認証取得が可能な、ラーメン等向けガラスープの抽出・調味料類配合・充填を一連の操作で行える米国でも珍しいラーメンスープ等調味料専門工場。

ユーザーの希望に応える『小回りの利いた』開発体制と、『小ロット生産』対応。

ラーメンに特化した活動だけでなく、お客様の望む調味料のオーダーメイド・PB製品の提案から開発、製造、販売までを一手に承る提案型営業。

4 . 参考資料

当社では、株主様への利益還元、サービスの一環として 株主優待制度を導入しております。

- (1) 1単元以上10単元未満をご所有の株主様に、2,000円相当の北海道産品の詰め合わせを1箱贈呈致します。
- (2) 10単元以上をご所有の株主様に、5,000円相当の北海道産品の詰め合わせを1箱贈呈致します。



(優待品の一例。小樽で加工された干物。)



(パッケージを変更することがございます。)

(1) 会社の経営の基本方針

【経営理念】

- ・ 誠実な企業活動を通じて社会に貢献する
- ・ 常にお客様の満足度の向上を目指し風通しの良い社風の醸成を図るとともに絶え間なく業務の改革・改善に努める
- ・ 食文化の創造と発展を通して企業価値を創造し着実に利潤を追求して取引先・社員・株主の相互繁栄を図る

【経営ビジョン】

- ・ 業務用調味料メーカーとして商品開発・生産技術・品質保証体制で他社の追随を許さないプロのためのプロ企業として強固な財務体質と高収益を誇る小粒だが光り輝く高付加価値企業となる

(2) 目標とする経営指標

当社の利益配分の基本方針に従って、長期的な安定配当を維持継続し、企業価値の増大による利益還元を行うことに注力し、自己資本当期純利益率5%を目標とする

本資料に関するお問合せ

 **和弘食品株式会社**

広報・IR室

TEL : 0 1 3 4 - 6 2 - 0 5 0 5

E-mail : IR@wakoushokuhin.co.jp